

# まいまい 通信 9月臨時版

(相模原市議会議員 森しげゆき 活動レポート)

平成30年10月発行

## 9月定例会議代表質問等の活動を報告

事務所  
相模原市中央区上溝3841-11  
発行責任者 岩崎 貴志  
TEL 042-770-5241

8月23日～9月28日までの日程で開催された相模原市議会9月定例会議において、森しげゆき相模原市議会議員は、小中学校の空調設備の早期設置について、米軍基地相模総合補給廠一部返還における国との協議状況、相模原市の防災力の向上について、中央省庁での水増し問題が明らかになった障がい者雇用について、JR相模線の改善について、その他、最近の相模原市の動向について代表質問を行いましたのでご報告いたします。



## 森しげゆき議員 代表質問を行う！

### 代表質問報告

去る8月31日、平成三十年年度相模原市議会9月定例会議において、森しげゆき相模原市議会議員は、所属する党派・市民民主クラブを代表して代表質問を行いました。年4回開催される市議会の定例会議の中でも、3月は一年間の市の予算が示される予算議会と呼ばれ、9月は前年度の決算を総括する決算議会と呼ばれ、重要視されています。その重要な議会において、上程されている議案や、課題となっている市政運営について多岐にわたる市長の見解を質しました。全ては掲載できませんが、以下の通りご報告いたします。

### 【平成29年度相模原市一般会計 歳入・歳出決算について】

#### ・自主財源比率について

森 財政の健全な運営のためには、自主財源の確保が必要である。平成29年度決算は、平成20年度と比較して、自主財源比率が17.6ポイントも低下している。評価と今後の取り組みについて伺う。

市長 平成20年度と比較して、自主財源自体は5パーセント伸びているが、それ以上に依存財源が増えており自主財源比率が低下している実態である。今後も引き続き税源涵養の取り組みや、市税等の収納対策強化を図っていく。

#### ・学習環境施設整備について

森 以前から小中学校の空調設備を求め、市は計画的に進めてきた結果、来年の夏までに前倒しで完了すると表明したことは評価する。しかし、普通教室が中心であるため、その他の特別教室や避難所となる屋内運動場(体育館)へも設置を進めるべきだと思いが見解を伺う。

教育長 普通教室以外に、音楽室、図書室、相談室などにも同時に設置している。理科室や図工室は火気使用や粉じんの関係で課題がある。また、屋内運動場は構造上課題が多く難しい。

森 屋内運動場は災害時の避難所となり、夏に豪雨災害などで市民が避難した場合、蒸し風呂状態となる。基本は子どもたちの教育環境改善であり、夏季でも屋内運動場で授業ができるように大規模改修工事と併せて進めるべきである。

一面からの続き

## 【市政運営について】

### 相模総合補給廠の一部返還状況について

森 J R相模原駅北側の米軍基地相模総合補給廠の一部返還地については、さまざまな都市機能について検討されているが、未だ国からの返還そのものが合意されているわけではなく、協議を進めていると承知しているが、協議完了の目途と財源確保の見通しについて伺う。

市長 返還地については、平成33年度の国有財産審議会に諮ることを目指して財務省との協議を進めている。施設の利用によって優遇措置が定められているので、民間活力の導入を含め事業費の軽減に努めていく。

### 障がい者雇用について

森 私は議員になって12年間、毎年のように障がい者雇用率向上に向けて意見を言ってきた。この度の、中央省庁の障がい者雇用率の水増し問題を受けて、相模原市の障がい者雇用の実態について伺う。



日ごろ、市民の皆さんが感じる疑問を同じ目線で発言するよう心がけています。

市長 相模原市では本年度の障がい者雇用率が2.59%と報告をしているが、中央省庁の事案を受けて、国のガイドラインに基づく適正な把握・確認がなされているか早急に精査を行っている。

森 検証した結果、課題があった場合は速やかに公表し、適切な措置を求めるとともに引き続き、障がい者の働く場が確保されるようお願いする。

### 【障がい者雇用の報道について】

森 しばゆき議員は議員になる前から障がいのある方とのふれあいを通じて、自立支援のために、障がい者の働く場の拡大を求めてきました。国が定める「障害者法定雇用率」は、今年4月から更に引き上げられ、民間企業で2.5%、地方公共団体が2.5%となりました。また、今までは従業員が50人以上の企業に義務付けられてきましたが、4月から45.5人以上と条件がさらに厳しくなりました。これに違反した場合、民間には障害者雇用納付金制度が適用され、反則金を払わなければなりません。

今回、森議員の代表質問によって新聞各紙でも報じられました。相模原市でも再検証の結果、速報では障害者手帳を確認していない方がいるとのことですが、障がい者か否かの確認は、デリケートな問題ですので、時間をかけて検証して適切に障がい者の働く機会が確保されることを望みます。

### 行政相談窓口の一元化の取組みについて

森 雇用対策における就職相談窓口がワンストップになったことから、市民から評価の声が

あがっている。一方、子育て相談、高齢者福祉相談、地域の安全対策など、また「役所に相談に行ってもたらいまわしにされる」という声が聞かれる。これまでの成果と、今後の行政相談窓口一元化に向けた取り組みについて伺う。

市長 子育てに関しては、各区に子育て支援センターを設置し、地域の防災・防犯に係わる事務を順次区役所へ移管している。今後とも、身近な場所で行行政サービスが完結できる体制を進めていく。

森 行政サービスをワンストップで受けられる体制が整えば、市民への周知が重要となる。冊子は開かないと見られない。例えば「子育てに関する困りごと」は「ココへ」や「高齢者に関する相談はココへ電話」など、一目でわかるような連絡票を作成して、冷蔵庫に張っておけるようなサイズで市民へ配布すべきである。



行政サービスの向上は、森議員の政策の柱でもあります。これまで、バスポートセンターの開設など、さまざまな取り組みを行ってきました。今後とも市民の皆さんに頼られる行政サービスを目指します。

## ・防災力の向上について

**森** 最近の台風や集中豪雨による災害は「これまで経験したことがない」と表現されるなど恐ろしい災害になっている。相模原は地盤が固く地震に強い、と言われているが、市内で集中豪雨災害や、土砂災害を最小限にするための取り組みを伺う。また、避難情報の発令に関する避難準備・高齢者避難開始、避難勧告、避難指示と多様であるが、市民、特に高齢者にわかり易い工夫ができないかを伺う。

**市長** 住民の理解を深め、実際の避難行動につなげるため、ハザードマップを活用した土砂災害対策訓練等を実施している。さらに実効性の高い住民が主体的に取り組めるよう検討している。避難情報の周知については、より高齢者にもわかりやすいチラシの作成等について検討していく。



9月2日に米軍基地相模総合補給廠一部返還予定地で行われた、今年度の相模原市総合防災訓練。今年は、川が増水して中州に取り残された想定での救出訓練や、多くの市内民間事業者と協力した訓練も行われました。今後とも、より実効性があるように提言していきます。



未だ、行き違い施設がないJR上溝駅。既に、橋上の駅となっているため、行き違い路線を整備することは、比較的容易であると考えられます。小田急多摩線の延伸、リニア中央新幹線によって、相模線は益々重要な路線になると思われるため、今後とも粘り強く取り組んでいきます。

## ・交通政策について

**森** リニア中央新幹線駅が橋本に整備されれば、神奈川県を南北に縦断する相模線の重要性がさらに増してくると考える。番田駅の駅舎は新しくなったが、地元の声は「橋上駅舎化」であり、今後の改善策について伺う。また、相模線の速達性を高めるためにも、上溝駅に電車の行き違い施設を整備すべきであり、JRとの協議状況についても伺う。

**市長** 番田駅の橋上駅舎化、上溝駅の行き違い施設整備については、「新たな相模線交通改善プログラム」において位置づけられており、検討が進められていると承知している。今後ともJR東日本に対して要望を続けていく。

## 【その他、代表質問で議論した項目について】ダイジェスト

### ・文化の振興について

昨年度、民間機関が実施した全国政令指定都市幸福度ランキングで相模原市は「文化」の項目で最下位だった。多くの市民が文化振興に努力しているため、文化の薫る相模原を目指して市民活動のサポートを強化すべきである。

### ・市税の収納率向上に向けた方策について

市の財政の根幹をなす市税の徴収については、毎年徴収率が向上している。しかし、さらなる改善が必要であり、新たな取り組みを求める。

### ・市の活性化・シテイセールズについて

田名の花火や、小倉橋の灯篭流しなど、市の観光まつりの主なものの一部は、鉄道駅から徒歩圏内になく、イベントによる慢性的な交通渋滞によって、バスが公的機関の役割を果たせないという弊害が出ている。地元に住む方も、渋滞でなかなか帰宅できないという話もある。せっかく見に行っても、現地までたどり着けないということのないように根本的な改善策を求める。

さがみはらスイーツフェスティバルについては、昨年は「推しミヤゲ総選挙」を行い、相模原を代表するお土産品を市民の投票で選んだが、選ばれたお土産品を、新幹線駅や空港で販売できるように市が支援すべきである。

### ・共生社会実現に向けた取り組みについて

生活弱者を見守る取り組みとして、私の提案で発達障がい者のためのサポートカードを導入したことは評価するが、市民周知に課題がある。ヘルプマークや、マタニティマークの周知を含めて、市民へのさらなる周知を求める。

詳細は、相模原市議会ホームページでご確認ください。

# 連絡所看板を

## リニューアルしました

森しげゆき議員は、初当選以来12年目の活動をしていますが、ご承知の通りこの政党にも属せず「無所属」議員を貫いています。

その理由は、市民が一番近い立場の市議会議員は、国会議員や県議会議員と違って、政党の政策に左右されてはいけないと思うからです。従って、その都度、さまざまな政策については是非で対応しています。

市民の皆様からは「ウチにポスターを貼っていいよ」というありがたいお言葉をいただきますが、政党に所属していないため、政党の掲示板上にポスターを掲示することはできません。また、この時期は選挙が近く、公職選挙法により、名前の入ったのぼりを立てて街頭で政治活動をすることも制限されています。

従って、街中で皆様をご覧いただけるのは、後援会連絡用看板6枚と個人連絡用看板6枚の合計12枚だけです。何卒ご理解ください。



リニューアルした2種類の看板

### 【森しげゆきプロフィール】 無所属です

1966年 9月 秋田県男鹿市生まれ 52歳  
1985年 4月 NEC入社  
2002年12月 連合神奈川・相模原地域連合事務局長

【相模原・津久井地域合併協議会委員、相模原市廃棄物減量等推進審議会委員、相模原市公共交通推進協議会委員、新宿小学校PTA会長、相模原市青少年指導員 等を歴任】

2007年 4月 相模原市議会議員初当選  
2011年 4月 相模原市議会議員2期目当選  
2015年 4月 相模原市議会議員3期目当選

趣味 ラグビー、サッカー

特技 書道(現在も指導中)

住まい 相模原市中央区上溝在住

### 【次のステップに向けて・・・】

・新たな政策の策定に着手します  
相模原市は現在の新総合計画の後期実施計画に入り、都市マスタープランの見直しにも着手しています。福祉課題においては2025年問題を中心とした、新たな福祉のあり方を創造しなければなりません。

そこで、今年いっぱいを目途に森しげゆきの新たな政策を策定しますので、市民の皆様からも忌憚のないご意見をお寄せください。

メール [mori-shige@mori-shige.jp](mailto:mori-shige@mori-shige.jp)  
〒252-0243 相模原市中央区上溝3841-11  
森しげゆき 宛て



### 【市議会活動・これまで】

環境経済常任委員会委員長、文教常任委員会委員長、民生常任委員会委員長、農業委員等を歴任

### 【市議会活動・現職】

環境経済常任委員会、水源地域対策特別委員会委員長  
相模原スポーツを応援する議員連盟事務局長  
小田急多摩線延伸を促進する議員連盟監事

### 【党派・役職】 市民民主クラブ 総務会長

### 【その他・現職】

NPO法人相模原市ラグビーフットボール協会顧問  
下九沢地域振興会、石橋地区伝承芸能保存会  
相模原秋田県人会、認知症キャラバンメイト  
薬物乱用防止教育認定講師、なまはげ伝道師